

函館工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	総合英語Ⅲ B
科目基礎情報					
科目番号	0326		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質環境工学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	Basic Literacy for the Science(金星堂)World Wide English for global Communication Skills (成美堂)MEW Exercise BOOK Frontier 1600 (いっすな書店), Newton e-learning				
担当教員	高橋 眞規子				
到達目標					
1. 英語の基礎的な語彙、慣用句1200語程度の語彙を定着させると共に2600語程度の語彙を新たに習得する。 2. 中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 3. 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。 4. 毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要が理解できる。 5. 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英語の基礎的な語彙、慣用句1600語の70%以上の単熟語,英文を理解し運用できる。		英語の基礎的な語彙、慣用句1600語のほぼ60%の単熟語、英文を理解しており、大まかに運用ができる。		英語の基礎的な語彙、慣用句1600語の英単語、英文の理解が50%未満であり、運用することができない。
評価項目2	英文を毎分100語程度以上の速度で読んだり、聞いたりして概要を簡潔にまとめることができる。		英文をおおよそ毎分80語程度の速度で読んだり、聞いたりしておおよその概要を理解できる。		英文をおおよそ毎分80語程度の速度で読んだり、聞いたりして理解できない。
評価項目3	工業英検3級程度の技術英語の語彙を理解し、簡単な技術英語を読んでその概要を理解することができる。		工業英検4級程度の技術英語の語彙を理解し、簡単な技術英語を読んでその概要を理解することができる。		技術英語の語彙や構文の理解が不十分で簡単な技術英文の概要が理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
函館高専教育目標 E					
教育方法等					
概要	総合英語ⅢBでは、国際社会に対応できる初歩的な英語運用と技術英語に必要な英語力を養うことを目標にする。国際社会に対応する技術者となるため世界の多様な地域で使用されている英語のリスニング能力を英語ニュース・インタビューなどを見たり聴いたりして養い、また、技術英語の基本語彙を習得し、技術・科学に関するトピックの英文を読んでその概要が理解できるようにする。				
授業の進め方・方法	本講義の内容は、①英単語、熟語の修得（科学技術用語含） ②技術英語の速読理解 ③リスニングである。国際社会で活躍する技術者として必要な英語の基礎的コミュニケーション力（おおよそ英検準2級および工業英検3級程度）を養成するため、特に以下の項目に重点を置く。 1.語彙：1600語以上の英語を理解するための基本的英語語彙の定着をはかるため、毎時語彙小テストを実施する。 2.英文速読：リピーティング、シャドウイング等の手法を使いながら速読即解ができるようにする。 3.世界の様々な地域で使用されている英語の音声に慣れ親しみ、多様な民族、文化に関するトピックやインタビューを見たり、聞いたりして、概要を理解することができるようにする。 4.授業の予習・復習に語彙習得用ワークブックを使用したり、e-learningを課す。締め切りまでに課題が終了していない場合は減点される。				
注意点	授業中の居眠り、授業に関係ない行動（PCやモバイル機器の指示以外の操作、漫画読み、内職など）は減点の対象とする。また、課題や提出物の未提出、提出遅れも減点対象となる。 関連する科目:総合英語Ⅰ、Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ ※この講義内容は全てコアカリキュラムの内容に基づいている				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業の説明 Unit 8 Earthquakes	・ 授業の進め方が理解できる。 ・ 地震に関する英文を読み、概要を理解できる	
		2週	Unit 9 Hurricanes 語彙テスト（WEEK11）	・ ハリケーンに関する英文を読み、概要を理解できる。 ・ ITや通信に関する英語語彙を理解し運用できる	
		3週	Unit 10 Volcanoes	・ 火山に関する英文を読み、概要を理解できる。	
		4週	Unit8-10の復習 語彙テスト（WEEK12）	・ 分詞、受動態、関係代名詞が理解できる ・ ITや通信に関する英語語彙を理解し運用できる	
		5週	Unit11 Wi-Fi	・ Wi-Fiに関する英文を読み概要を理解することができる。	
		6週	WWE Unit8 語彙テスト（WEEK13）	・ 南アフリカについての英語ニュース、インタビューを見たり、聞いたりして概要を理解できる。 ・ 数学・物理に関する英語語彙を理解できる	
		7週	WWE Unit9	・ 南アフリカについての英語ニュース、インタビューを見たり、聞いたりして概要を理解できる。	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	Unit12 Robots	・ ロボットに関する英文を読み、概要が理解できる	
		10週	Unit13 Additive Manufacturing 語彙テスト（Week14）	・ 製造や加工に関する英文を読み、概要が理解できる ・ 工業・工学に関する英語語彙を理解し、運用できる。	
		11週	Unit14 Elements	・ 元素に関する英文を読み、概要が理解できる	

		12週	WWE Unit10、11 語彙テスト (Week15)	・イギリスウェールズ地方についての英語ニュース、インタビューを視聴して概要を理解できる。 ・土木・化学に関する英語語彙を理解し、運用できる。
		13週	Unit15 Matter and Energy 語彙テスト (Week16)	・物質やエネルギーに関する英文の概要を理解し、語彙が理解できる ・医療・薬学に関する英語語彙を理解し、運用できる。
		14週	WWE Unit12、13	・インドについての英語ニュース、インタビューを見たり、聞いたりして概要を理解できる。
		15週	試験解答返却	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2 2	

評価割合

	試験	小テスト	相互評価	態度	E-learning	レポート	合計
総合評価割合	60	20	0	0	10	10	100
基礎的能力	60	20	0	0	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0